

連載コラム

～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第25回>

皆様、寒中見舞申し上げます。

こんにちは、コーチング研修会社ドリームフィールドのユッキーです。

2017年の第一号ということで今回は僭越ではございますが、

私の今年の抱負をお話したいと思います。

さて皆様に質問です。

以前、このコラムでもお話をさせていただいたことがありますが、ユニセフが先進国を中心に31カ国で行った調査で、子どもの幸福度が世界一だった国はどの国だったでしょうか。

答えはオランダです。オランダといえば、風車や運河にチューリップ、そしてミッフィーの故郷なので、メルヘンなイメージをお持ちかもしれません。

ところがその一方、大麻や売春、安楽死が合法で、同性愛もいち早く認めた国であり、ある意味、世界トップクラスの「自由」を謳歌する国だという一面もあります。そのような国だからこそ教育にも画期的ないろんな取り組みが行われているのだと思います。そして世界の中でも、学力、幸福度がともに高いことで注目されているオランダは、まさに「教育にコーチングが根付いている！」国なのです。

オランダの小学生は幼いうちから、自分で考え、自分で学ぶ経験を繰り返すことで生きる力を育てていきます。

子どもたちは自分で、勉強する課題を決めて取り組み、自己評価する力をつけていきます。中には時間割がない学校や、授業時間を知らせるベルもない、成績をつけない学校もあります。宿題もありません(家は家族と会話をしたりコミュニケーションをとって過ごす場だから)。学費は大学卒業まで公立も私立も無料です。なんと誰でも自分の好きな学校を選ぶことができます。

インターネットで見たのですが、目が見えない女の子が、目が見える子供達と一緒に普通に授業を受けている様子を見て、私は感動しました。教師は子どもの持っている思考や計画性、責任感を信頼し、それを引き出すような関わり方をしています。関わる大人達の「在り方」(心の態度)がしっかりと徹底されているからこそ、生きる力が育つのです。

オランダの教育で代表的なのが「イエナプラン教育」。
そのイエナプランには 20 の原則(教育方針)があります。
そして関わる大人の「在り方」が徹底されています。
その原則の 1 番目にはこのようなことが書かれています。
「どんな人も、世界にたった一人しかいない人です。つまり、どの子どもも、
どの大人もひとりひとりが、他の人や物によっては取りかえることのできない、
かけがえのない価値を持っています」と。

どの人も自分らしく成長していく権利を持っていることを大事にする。
そしてかけがえのないアイデンティティ(それぞれの人が持っている固有の性質)を
伸ばすための場。それが学校なのです。素晴らしいなあ~~~~~！

ということで、私は、今年の 3 月にオランダにいきます。
そしてこの目でさまざまな学校を回って現況を見てくることにしました。

日本の教育はとても素晴らしいです。
しかし今、いじめ問題や不登校、そして子どもたちの自己肯定感の低さという問題も抱えています。
日本の子どもたちが自分らしく生きていくためのヒントをオランダでたくさん見つけてきますね。

ということで 2017 年もわくわくでスタートしております！
本年もどうぞよろしくお願い致します(*´▽`*)

プロフィール

阿部 侑生 (あべ ゆき)

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可(財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH! バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、
その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等を
テーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。